



からしだね

2014年
6月号 (495号)

キリストの受難
カトリック池田教会

共同宣教司牧：畠 基幸神父・松本 一宏神父

協力司祭：デニス・マックゴワン神父

住所：〒563-0041 池田市満寿美町9-26

TEL : 072-751-2400 FAX : 072-753-4624

URL(ホームページ) :

http://www.wombat.zaq.ne.jp/catholic_ikeda/



巻頭言	2	信徒総会開催	2
侍者入会式	3	地区委員会から	3
日曜学校遠足	4	2013年度の水道光熱費について	6
サロンカフェ・コンサート ..	6	池田教会のはじまり	7
からしだね俳壇	8	宝塚黙想の家から	9
研修委員会から	9	ガラスケースの言葉	9

表紙写真：ベルギー・ブルージュ 聖母マリア教会 提供：米花

巻頭言

土曜日のお泊まり会

デニス神父

今日は「お泊まり会」について話したいんです。はっきり覚えていないけれど、土曜日のお泊まり会の始まりは40年くらい前だったと思います。1回は小学生のため、1回は中学生のため、1回は高校生のために開いたのです。

食事はそれぞれ青年、高校生、中学生たちが自分で作ったのです。時々中学生は電話でお母さんと料理の作り方について相談してました。小学生の食事はたいていカレーでした。お母さんたちが作りました。しかし小学生のお泊まり会プログラムの係は、お父さんたちになってましたね。子どもの信仰教育のためには、お父さんの姿が大切だったからです。みんな熱心でしたよ。

カール記念館が建つ前だったから、いい部屋がなくて司祭館の一階の畳の部屋で寝ました。おもしろかった。電気を消してからしばらく静かでしたが、だんだんと騒ぐようになるような事が、時々ありました。二階で寝ている私の部屋で聞こえるくらい騒がしくなったから、スリッパで床を叩くと、また静かになるんです。夜中に中学生が一度、ひどく騒がしかったので、様子を観るために、わたしが降りていったら、中学生の男の子たちは卓球をやってたんです。しかし朝の御ミサのために、二階からわたしが降りたら、静かに寝ているみんなの姿は、ほんとうに天使のように美しかったです。

朝の食事はたいていパンと牛乳でした。1回、牛乳が足りないから、わたしは自転車で近くのセブン・イレブンまで買いに行きました。コンビニの場所を説明するより、自分で行ったほうが早いと思ったのです。二年生のルチカちゃんは、あとでお母さんに文句を言ったそうです。お泊まり会で神父様は小使いになってしまっている、と言ったとか。

時々ビデオを子どもたちに見せておいて、感想文を書いてもらいました。あるとき聖書のビデオを使ったんです。アブラハムとイサクの話でした。感想文のなかに、三年生の由利子ちゃんのがありました。「お父さんが自分の子供を殺すなんて信じられない。わたしのお父さんは決してそんなことはしないとします。」ビデオを観た子どもが、自然にこの物語のほんとうの意味を理解するのは、ほんとうに偉いと思いました。

子どもたちが自分の家と同じくらい教会を親しく感じるために、お泊まり会はずいぶん役に立ってきたと思います。これほど長いあいだ40年以上も、続けることができたのは素晴らしいと思います。

☆☆☆

前の司祭館から残ったものがひとつだけあるのを教えましょう。二階の会議室の壁にかけてある40センチくらいのものでつくった茶色のマリア様の像です。あの像は前の司祭館の玄関の壁にかかっていたものなのです。

次は日本に初めてやってきた御受難会の神父さんの話をするつもりです。戦争中の話から始まりますよ……。

信徒総会を開催します

6月15日(日)のミサ後すぐ、信徒総会を開催します。
司牧チームを含め各委員会から報告します。
そのあと質疑応答です。
一時間程度で終わる予定です。
皆さんの出席をお願いします。

(評議会)



侍者入会式 (4月27日)

関 高くん、四倉 周くんが、侍者に入会されました。



地区委員会から


4月20日の復活祭、染野神父様送別パーティにおきましては、
たくさんのお料理、お菓子の持ち寄りにご協力頂き、ありがとうございました。



日曜学校遠足 (5月10日)





- この前の遠足はたのしかったです。お昼はみんなでいなりずしを作ったり、みんなですべりだい、馬とび、などたくさん遊びました。また次の遠足をたのしみにしています。(あやか)
- みんなですべりだいをすべて楽しかった。中・高生に馬をやらしてもらって、馬とびをやったのしかった。(たか田の)
- 日生中央教会の人達にいろいろなことにお世話にならしていただいて、とても楽しいけんがいっぱいできました。日生中央教会のみなさんありがとうございます。(夏) 
- 大きなすべりだいがたのしかったです。(大川こ)
- いつもおとまり会などで、池田に来てもらっていたが、日生の教会で集まることができよかった。(三島)
- あやちゃんたちと4~5人で長いすべりだいであそんだり、おぐらのあちゃんに、白つめくさで、アクセサリーの作り方を教えてもらって楽しかったです。(小出さ)
- 私が、一番たのしかったのは「すべりだい」です。それはダンボールであまりやらなかったけど、でも、みほちゃんといっしょにすべりだいであそべてよかったです。大きなタイヤとびはフルフルしてこわかったけど、みほちゃんのお母さんに「うまい！」と言ってくれました！。また池田教会の子供たちと、いっしょに遠足に行きたいなあと思いました。いろんな大人の人や子供たちもいっぱい来てくれて、本当に感しゃしながら楽しみました！。また、このきかいがあったらいいなあと思いました。(れいな)



2013年度の水道光熱費について

今月のからしだねに挟み込まれている、2013年度の決算報告書にもあるとおり、2013年度(2013年4月～2014年3月)の水道光熱費は

電気代	1,536,743円	(前年比 +141,344円)
ガス代	161,674円	(前年比 -2,842円)
水道代	206,563円	(前年比 -15,178円)
合計	1,904,980円	(前年比 +123,324円)

でした。

電気代は電気料金の値上げがあったとはいえ、前年から10パーセント以上の増加です。昨年は猛暑でもありましたし、もちろん、教会では快適に過ごしていただきたいと思いますが、無駄な電気のつけっぱなしや、低すぎる、あるいは高すぎるエアコンの温度設定には十分ご注意頂きたいと思います。

2014年度も皆様の一層のご協力をお願いいたします。



(財務委員会)



サロンカフェ・コンサート (4月29日)

カール記念館1階に寄付されたピアノを使ったサロンカフェ・コンサートが開かれました。有志の方々の立ち話で開催が決まったとのことでしたが、本田実さんの独唱、小川恵さんのピアノ伴奏を聞き、みんなで一緒に歌ったり、美味しいケーキをいただいたり、楽しい時間を過ごすことが出来ました。



池田教会のはじまり…古い信者の思い出から

北村

私は18才で洗礼を受け、それからほぼ50年が経ちました。

3月号のデニス神父様の記事を読んで、池田教会に通い始めた頃の事を懐かしく思い出すと同時に知らない事だらけだなあと感じ、神父様方を始め当時を知らない信者さんの方が多くなった今、信者の立場から50年前の様子をお知らせしたいと思います。

当時、日本は敗戦後でまだまだ貧しい時代が続いていました。私は1946年生まれですから、丁度敗戦の一年後に神様から命をいただいたのです。

幼い頃、池田駅周辺(現在の池田駅よりももっと西側にありました)には足や手を失った傷痍軍人が並んでいて、アコーディオンを弾きながらアルミのお弁当箱にお金を入れて欲しいと物乞いをしていました。幼い私は彼らの前を通ることがとても怖かったのです。進駐軍がすれ違いざまに、今は亡き私の弟の頭を撫でて通ると、私は必死になって「弟を連れて行かないで！」とばかりに弟の腕を引っ張っていました。当時の伊丹空港では、敵機を探すサーチライトが時々光っていました。防空壕の跡も近くにあり、怖がりの私には怖い事だらけでした。

当時のアメリカは良き時代…素敵なパパとママ・素敵な家・冷蔵庫・車・高校生のダンスパーティなど…日本人の憧れの国でした。アメリカンドリームという言葉もその頃生まれたと思います。

そのような時代にアメリカの御受難会が、大きな犠牲を払って5人の神父様を日本に送ってくださったのですねえ。

1953年(私は8才)、最初に日本に来られたのは、マテオ、カール、ポール、クレメント、ピーター神父様！ そのうちで私が存知あげているのは、マテオ、カール、ポール、クレメント神父様の4人。

そして1957年に二回目の派遣でウォード神父様とデニス神父様が来日！

その内お元気なのは、現在ではウォード神父様(91才)とデニス神父様(86才)だけになりました。

神父様方は夫々にユニークで暖かく、とても誠実なお人柄。もちろん非常なpassionを持っておられ、私たち一人一人に対してとてもfriendlyな方たちでした。私たちの宝物です。

私は、そんな神父様に、今こそご恩返しをする時だと強く感じています。

私の記憶では、神父様方は貧しい日本人と同じ生活をされ、修道服などは何度も何度も繕って着ておられました。又、ベッドではなく板の上に休まれた由も聞きました。前に書いたように、どんなに寒い朝もどんなに暑い朝も教会の前に出て、私たちがミサに来るのを笑顔で待っていてくださいました。

デニス神父様と個人的にお話した時「当時は日本の食事には肉がなく、ケンタッキーフライドチキンを食べたくなくなった！！」と言っておられました。

裕福なアメリカから来て、貧しい日本人のために骨身を惜しまれなかった神父様方の姿を見て、私の信仰は育ちました。

洗礼も結婚式も子供たち、孫の洗礼も両親の葬儀もデニス神父様にしていただきました。ですからデニス神父様は「私の父」です。

実の父は4年前に神父様に手をしっかり握っていただき、安心した様子で天に召されましたが、私は神父様のことを今“Father!”と呼べるのが嬉しくて仕方ありません。実の父もデニス神父様も私の大切な「人生の恩人」ですから！ 本当に幸せなことです。

もし私が神父様と同じ事をしなさいと言われたとしても、決して出来ない事だと痛感します。

次回はごミサの事について書きたいと思います。



宝塚黙想の家から 黙想会のお知らせ

私たち、キリスト者に与えられている宝は、神のみことばである聖書です。
黙想の家では、毎月みことばを深く味わう集いを行っています。
宝は大事にしたいですね。

■ 日帰り黙想会

6月19日(木) 10:00～15:30 指導：山内十束神父

6月20日(金) 10:00～15:30 指導：山内十束神父

■ 一泊黙想会

6月はありません。

※ 各黙想会、費用等のお問い合わせは「宝塚黙想の家」まで TEL. 0797-84-3111



研修委員会から

中高生お泊り会で宿泊してくださる方を探しています。
対象は中高生の保護者または女性の方。
原則として第2土曜日の泊りです。
仕事は戸締り、火気の確認、子供たちの見守りです。
宿泊できる方は研修委員まで。



6月のガラスケースの言葉

わたしは 平和をあなたがたに残し、
わたしの平和を与える。(ヨハネ 14・27)



編集後記

この記事を書いているのは、5月なかば。さわやかな五月晴れ。昼からは慰労会があってビールを楽しもうという寸法。いちばんビールがうまいのは真夏だろうが、そろそろあの苦みが恋しくなってくる季節。みなさんはビールを飲みますか？「ラガービール」というのが日本は一般的ですよ。でもご存じのとおり、ビールは多種多様。どれだけ種類があるのか、もちろんわたしは知りませんが、エール系が好きですね。ラガーはさっぱりしてのど越しがいいけれど、なんだかあとに残らない感じ。それと比べると、イギリスやベルギー、それにドイツのまっ黒けの「黒ビール」なんか、なんとも言えないしつこさがある。これがソーセージや肉にはぴったり。ということで、日本でも市民権を得かけている「黒ビール」など、試してみたいかが？でも酒はもちろん、飲まない方がいいわけ。でもイエスも最初の奇跡は「水をワイン」に変えた「カナの結婚式」でしたよね・・・お酒万歳！ (直)